



その咳、  
長びいて  
いませんか？

日本では、いまでも年間約16,000人が結核を発病しています。

結核は、咳やくしゃみなどの空気感染によりうつる身近な感染症で、働き盛りの年代や若者の発病も問題になっています。結核は発病しても早めに受診し、適切な治療を受ければ治る病気です。\*1



### 私たちの身近な場所での感染報告が相次いでいます

結核は空気感染をする病気です。事業所、医療機関、学校、飲食店、カラオケやインターネットカフェなど、空気が流れが悪く人が多く集まる場所で、思いがけず感染することがあります。\*2



### 受診の遅れ、診断の遅れに注意が必要です

人々の健康に対する過信・無関心、医師の結核に対する認識の低下から、結核の発見が遅れ、発見された時にはすでに病状が悪化し、治療が困難化、長期化する発症例が増えています。\*3



### 海外からの結核の流入が増えています

海外では結核が多い地域があります。特に近隣アジア諸国の結核罹患率は、日本と比較して約3～20倍とかなり高い状況にあります。\*4

参照：\*1～\*3 平成30年結核登録者情報調査年報集計、\*4 平成30年結核登録者情報調査年報集計、WHO Global TB Report 2018

このような症状があったら  
すぐに受診を！

- 長びく咳
- 痰が出る
- 微熱が続く
- だるい
- 胸が痛い
- 体重減少

結核の初期症状は風邪に似ています。

# 結核は私たちの問題です

世界では、2017年に160万人が結核により死亡しています。結核による死者数は、単独病原菌の感染症としては最大で、HIV/エイズを超え、世界10大死因の1つです。世界の結核患者の60%がアジア地域\*5で発生しています。結核は、HIV/エイズなど他の感染症、糖尿病や喫煙のような生活習慣病、貧困、公衆衛生、移民、差別など社会・経済的な問題や人権の問題に深く関わる地球規模の課題です。\*6

\*5 WHO南東アジア、西太平洋地域



1/3が未診断、未治療

## 診断、治療がされていない

世界的には、結核と推定される患者全体のうちの1/3が診断もされておらず、したがって治療もされていません。特に子供の結核は見過ごされていて、2016年に結核で亡くなった子供の96%は治療を受けることができませんでした。\*7



多剤耐性結核の1/4しか適切な治療が行われていない

## 主要な薬剤の効かない多剤耐性結核\*8の脅威

2016年には、多剤耐性結核を発病した人のうち約40%が結核で死亡しています。多剤耐性結核では、診断された患者の1/4にしか治療がされておらず、しかもその治療成功率は約55%と低く、その脅威は大きな問題となっています。\*9

\*8 多剤耐性結核は、不規則な治療をすることで結核菌が薬に対して耐性を持つことにより発症する一方、その人から感染を受けた人は初めから多剤耐性結核になります。



人と金の損失 1兆億ドル

## 結核による人的、経済的な損失は甚大

結核のため働けなくなる、教育を受けられなくなることにより、家族、地域、国を貧困と病気の負のサイクルへ導きます。2015年から2030年までの結核による経済的な損失は、推定1兆億ドルとされています。\*10

## 世界は結核を2030年までに終息させることを目指しています

国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、『2030年までに世界的な結核の流行の終息』を目標として掲げています。

日本でも、結核の早期低蔓延化\*11を目指しています。

日本の結核罹患率は欧米諸国と比較すると2~4倍高く、中蔓延国と位置づけられています。

結核菌に国境はなく、最近では海外からの結核の流入も課題となっており、その対策が求められています。\*12

\*11 2020年に低蔓延国(罹患率10万対10以下)となることを「結核に関する特定感染症予防指針」の目標に定めている。

参照: \*6 WHO Global TB Report 2018 \*7, \*9 WHO Global TB Report 2017, 2018 \*10 2017 KPMG of the macroeconomic impact of TB from 2015-2030 \*12 平成30年結核登録者情報調査年報集計

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

3 すべての人に  
健康と福祉を



Stop TB Partnership  
JAPAN

活動にご賛同・ご支援いただける個人会員を募集しています。

ストップ結核パートナーシップ日本は、外務省、厚生労働省、JICA、結核予防会、製薬産業をはじめとする官民の様々な団体や個人が結集して国内外の結核対策を促進し、結核終息の重要性を啓発する認定 NPO 法人です。

お問い合わせ先: ストップ結核パートナーシップ日本  
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 1-3-12 結核予防会内  
TEL: 03-5282-3010 FAX: 03-5980-8267 Email: stoptb.kaiin@gmail.com

詳細はウェブを  
ご覧ください

ストップ結核  
<http://www.stoptb.jp/>



推薦:



公益財団法人結核予防会

監修: 森亨 (ストップ結核パートナーシップ日本 代表理事)



このチラシは日本ベクトン・ディッキンソン株式会社のご支援により作成されました。

BD, the BD Logo are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners. ©2019 BD. All rights reserved.